



志津南 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (8/31 現在)
世帯数 2,511 総人口 6,635 人

発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizu373@machikyuu.jp

子どもフェスタ特別号
全8ページ

大鹿愛さんの司会、宮永委員長と高田憲一まち協会長の開会の辞で、フェスタがスタートしました。キッズダンスやサックスアンサンブルなどがステージを盛り上げ、会場内には多くの模擬店やフリーマーケット、遊び体験などのテントが並びました。子どもたちが楽

志津南学区ふれあい推進委員会(宮永俊昭委員長)は10月30日、ロクハ公園スポーツ広場で「子どもフェスタ」を開催し、子ども達を中心に1700人(主催者推定)が参加しました。天候にも恵まれ、開始前から人が集まり始めました。大鹿愛さんの司会、宮永委員長と高田憲一まち協会長の開会の辞で、フェスタがスタートしました。キッズダンスやサックスアンサンブルなどがステージを盛り上げ、会場内には多くの模擬店やフリーマーケット、遊び体験などのテントが並びました。子どもたちが楽



「レインボードリーム」のダンス

和やかな雰囲気で行われた祝う会



若草五丁目町内会(島田達生会長)は10月22日、若草第五集会所で高齢者長寿を祝う会を開催しました。コロナ禍で高齢者が集う催しが途絶えがちになっていますが、対象者を絞れば町内会でも対応できると、役員会で検討し開催を決めました。対象者は今年

祝顔見知りの敬老会 和やかに

若草五丁目町内会(島田達生会長)は10月22日、若草第五集会所で高齢者長寿を祝う会を開催しました。コロナ禍で高齢者が集う催しが途絶えがちになっていますが、対象者を絞れば町内会でも対応できると、役員会で検討し開催を決めました。対象者は今年

好天に恵まれ笑顔弾ける 初の試み来年も…の声多数

志津南学区ふれあい推進委員会(宮永俊昭委員長)は10月30日、ロクハ公園スポーツ広場で「子どもフェスタ」を開催し、子ども達を中心に1700人(主催者推定)が参加しました。天候にも恵まれ、開始前から人が集まり始めました。大鹿愛さんの司会、宮永委員長と高田憲一まち協会長の開会の辞で、フェスタがスタートしました。キッズダンスやサックスアンサンブルなどがステージを盛り上げ、会場内には多くの模擬店やフリーマーケット、遊び体験などのテントが並びました。子どもたちが楽

高評価でした。待ちに待った地域でのイベントでした。4年間のプランクの末やっと開催できたこと、コロナ禍でありながら多くの方々に参加いただいたこと、笑顔いっぱい楽しんでいたことが、笑顔を非常にうれしく思います。台風やコロナの影響で、ふれあい夏まつりが4年連続で中止になったのを受け、ふれあい委員会では根本的なまつりのあり方について、二年間検討を重ねて来ましたが、アンケートを実施するなどして、日時・場所・内容などについて、高評価でした。

活動内容となりました。子どもたちは甲板で、琵琶湖大橋を下から見上げた様子、琵琶湖の透視調査や水中のプランクトン観察にも取り組む、「湖上の学校」ならではの学習に、興味津々の様子でした。写真。どちらの航海も天候に恵

「絆」でチャリティバザー開催

を屋外と室内に分けて準備をいたしました。開店と同時に多くの方々がお越しくださいました。しかし、短い晴れ間もつかの間で、予報通り雨が降りだしてきて、慌てて室内での販売に切り替えました。1階は陶器・家庭雑貨類等々、2階は衣類・手作り品関係等を並べました。

消防車も登場して熱心に行われた防災訓練

ひとえに地域の皆様のご協力ご支援の賜物であり、特に会場近隣の皆様方に多大なるご理解ご協力をいただいたことを関係者一同感謝しております。ご協力いただいた多くの皆様方にお礼申し上げます。

会長候補に四方さん

志津南学区まちづくり協議会会長候補考査委員会(副会長3名)は、令和5年度会長候補者に四方道治さん(若草一丁目)を選出し、11月5日開催の第五回理事会で、満場一致で承認されました。

「これぞ…」に備えて防災訓練

晴天の下、各町内から自主防災委員をはじめ町内の方々100人弱の参加がありました。参加者は南消防署の皆様の指導に、熱心に耳を傾けました。防災訓練は4班に分かれて

「お詫びと訂正」

10月1日号で紹介したふれあいハウス「絆」でのエコキャップ収集活動について、エコキャップは市社協を通じ市内障害者の作業所へ送り、洗浄・分別・粉碎され、工場でプラントナーなどに加工され再利用されています。

正式には4月開催予定の総会で承認を得て、会長に就任することになります。

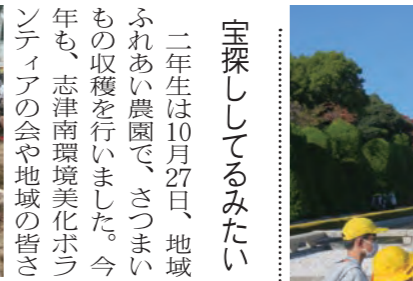
できるだけ、多くの方に各コーナーの器具に触れて、実体験してもらえよう配慮しました。少しでも防災のことがわかっただけでも幸いです。

お詫びして訂正します。



宝探ししてるみたい

二年生は10月27日、地域ふれあい農園で、さつまいもの収穫を行いました。今年も、志津南環境美化ボランティアの会や地域の皆さんにご協力いただきました。まず、さつまいもがどのよう育ててきたか教わり、見つけ方や掘り方について、自作モデルで分かりやすく説明していただきました。いよいよ収穫。春に苗を植えた場所、手で土を掘り返し、次々とさつまいもを掘り当てます。大ききや形も一つ一つ違い、まるで宝探しをしているように、どの子も楽しく活動することができました。今年も、みなさんのおかげで、たくさん収穫することができました。ありがとうございました。



原爆死没者慰霊碑を見学する児童たち

六年生は11月2日・3日に広島方面へ修学旅行に行きました。広島市内では、平和記念公園を訪れ平和セレンニールを行った後、ボランティアガイドの案内のもと、原爆ドームをはじめ



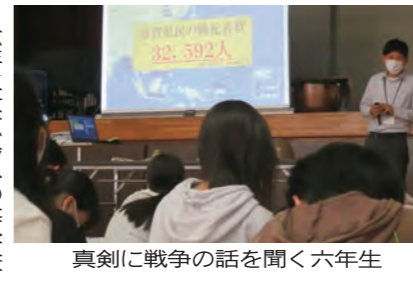
め公園内を散策して説明を受けました。その後、広島平和記念資料館を見学しました。現地を訪ねることで、多くの学びがありました。宮島では、世界遺産に登録されている「厳島神社」を見学しました。その後、班に分かれて表参道商店街で土産を買いました。子どもたちは、土産を渡す相手の顔を思い浮かべ、何を買い

教室を飛び出して…

志津南小学校(山田谷子校長)の児童たちはこの秋、校外学習の機会も多く、様々な経験を通じて学びを深め、たくましく成長しています。

戦時下の暮らしを知る

六年生は広島への修学旅行に先立ち10月14日、総合的な学習の時間の一環として、滋賀県平和祈念館より講師を迎え、太平洋戦争下の滋賀県の様子や戦時中の暮らしについて学びました。不発弾として残っていた焼夷弾や信楽焼の技術を使って作られた陶器製の手榴弾等の実物に触れたり、出



真剣に戦争の話を聞く六年生

湖上の景色に感動

五年生対象のフロートインクスクールが、10月27日と28日、二航海に分かれて実施されました。今年度も感染症予防対策の観点から日帰りで実施。老上西小学校児童と一緒に

「絆」でチャリティバザー開催

ふれあいハウス「絆」は11月13日、第9回チャリティバザーを若草六丁目児童遊園で開催しました。当日は、朝から雨模様の予報で、心配しながら品物

うか悩みながら楽しそうに買い物をしていました。子どもたちにとっては初めての宿泊体験ということもあり、出発前は少し不安そうなお顔も見られましたが、しっかりと準備ができていました。自分たちで乗り越えたという自信に満ちた表情を見せてくれました。充実した二日間の経験をこれからの学校生活に生かしていきます。



朝イチ、大賑わいの六丁目児童遊園

「これぞ…」に備えて防災訓練

ひとえに地域の皆様のご協力ご支援の賜物であり、特に会場近隣の皆様方に多大なるご理解ご協力をいただいたことを関係者一同感謝しております。ご協力いただいた多くの皆様方にお礼申し上げます。

「お詫びと訂正」

10月1日号で紹介したふれあいハウス「絆」でのエコキャップ収集活動について、エコキャップは市社協を通じ市内障害者の作業所へ送り、洗浄・分別・粉碎され、工場でプラントナーなどに加工され再利用されています。



「絆」でチャリティバザー開催

を屋外と室内に分けて準備をいたしました。開店と同時に多くの方々がお越しくださいました。しかし、短い晴れ間もつかの間で、予報通り雨が降りだしてきて、慌てて室内での販売に切り替えました。1階は陶器・家庭雑貨類等々、2階は衣類・手作り品関係等を並べました。

活動内容となりました。子どもたちは甲板で、琵琶湖大橋を下から見上げた様子、琵琶湖の透視調査や水中のプランクトン観察にも取り組む、「湖上の学校」ならではの学習に、興味津々の様子でした。写真。どちらの航海も天候に恵

活動内容となりました。子どもたちは甲板で、琵琶湖大橋を下から見上げた様子、琵琶湖の透視調査や水中のプランクトン観察にも取り組む、「湖上の学校」ならではの学習に、興味津々の様子でした。写真。どちらの航海も天候に恵

志津南子どもフェスタ

何より天候に恵まれました。ロクハ公園スポーツ広場には、開始前から人が集まり始め、終日賑わいが途切れませんでした。駆け回る子ども達も、見守るご家族も、そして運営スタッフも、皆この日の天気のように笑顔でした。皆さん、ありがとうございました。また会いましょう！

民児協

学区民児協では、①大型絵本・紙芝居、②ミニシュークツスマちがい探しと迷路、③紙とんぼを作って飛ばそうの3コーナーで遊び体験を楽しんでもらいました。どのコーナーも途切れることなく、大勢の子ともや家族が訪れました。青空の下、真剣な表情で紙芝居に見入る様子、ゆっくりとまちがい探しや迷路にとりくむ表情、紙とんぼに嬉々と挑戦する姿、親子で遊びに興じる姿がありました。あちこちで笑顔満載の一日。「どのコーナーも上出来！」とは仲間内の感想。

チャレンジ



ステージ

ロクハ公園スポーツ広場に入ると、可愛い手作りステージが見えて、ワクワクしてきました。コロナ禍が2年以上続き、以前のように十分な練習もできませんでしたが、それでも観客の方々がいる前で披露できたことは本当に嬉しかったし楽しかったです。客席には、たくさん家族連れがいられて、一緒に拍手をしたり拍手してくれていて、感動してしまいました。また来年も出演できればうれしいです。

ステージ



高穂中

高穂中学校生徒会では、高穂中学校クイズラリーを実施しました。思ったよりたくさんの方が参加してくれて大忙しでした。動画を真剣に視聴し、クイズラリーに駆け巡る姿を見て、やって良かったと感じました。動画が少し長かったかもしれないですが、クイズラリーの形をとったので活動に動きが出て良かったと思います。

コロナ禍でしたが、感染対策もしっかりすることができたので、安心して実施できたと思います。

体験



フリーマーケット

初めてのロクハ公園での子どもフェスタ。私たちも初めてのフリマ出店ということでしたが、お天気にも恵まれ、とても楽しかったです。子ども達が楽しそうに遊んだり、太鼓や歌が流れるアットホームなフェスタに参加でき、あつという間の一日でした。是非、来年も！

遊び模擬店



模擬店



8時過ぎから搬入。以前知り合った方、役員で一緒にした方なども参加されていて、声を掛け合いました。始まるにあつという間に大勢の人。飲食店には列ができて、売り切れるなど大盛況！予想よりも早く完売し、もっと用意すれば...と反省。子どもの小中時代のママ友や先生にも出逢い、ちょっとした同窓会気分。子ども達はもちろん、ずいぶん前に卒業した者や親同士にも大切な交流の場となることに、地域イベントを開催する意義を再確認しました。

フリーマーケット



模擬店



遊び体験



志津南落語会 笑いは百薬の長



高座がしつらえられた会場を埋めた参加者

「志津南落語会」と題し、近江落語会のメンバー3人に来ていただきました。福々亭ぼん太さんの「犬の目」、若草亭八兆さんの「ためし酒」、ねっと家小骨さんの小断とギター漫談と、笑いに包まれ、語りの巧妙さに感心するひと時でした。今回は、一般公開講座として開講、学級生21人より多い23人の一般参加がありました。

琵琶湖一周旅行

若寿会(鈴木明代表)は10月27日、草津市の福祉バスを使った琵琶湖一周バス旅行を実施しました。琵琶湖一周は3回目。昨年「メタセコイヤ並木」を見たかったという声が多かったため、今年はそれに配慮した旅程を組みました。参加者は、会員10人、一般の方14人の計24人でした。



皆で楽しく昼食に舌鼓

9時に若草中央バス停で乗車。めんたいパークひわ湖から大中の愛菜館へ。ここでかなりの方が買い物をしました。更に北近江リゾートで昼食後、「塩津海道あぢかまの里」からメタセコイヤ並木へ。紅葉には分乗して行きました。参加者は40人でバス2台に分乗して行きました。生憎の雨天でしたが、大きな雨に遭うことなく全行程を無事に終えました。特に畑での黒豆収穫体験は、事前に農家の方が収穫して大きなテントの中に入れてくれていたので、雨に濡れることなく、枝から豆のさやを切り取り、袋に詰

3年ぶりバス旅行



丹波ワイナリーでの記念撮影

少し早かったようです。安曇川の「藤樹の里」や和邇の「妹子の郷」に寄って帰着の予定でしたが、時間がおそくなってしまい、休憩時間を少しずつ短縮し何とか17時前に帰りました。昼食の段取りには苦労し

めることができました。その後、丹波ワイナリーへ行きおいしいワインを試飲し、お土産を買い込み、ほろ酔い加減で昼食会場八光亭へ向かいました。久しぶりの食事会でおいしい料理を食べながら盛り上がり、あつと言つ間に予定時間となりました。参加者には昼食が好評でした。帰りに道の駅で名物を購入し、帰路に着きました。

高血圧の基準は？



かがやきの丘地域サロン「なごみ会」は10月23日、町内会館「さらり」で「高血圧の診断基準って知っていますか？」のテーマで「健康



康講座」を開催しました。講師にあさの内科クリニック浅野信行院長を迎え、15人が参加しました。写真。血圧が140・90のどちらかを越えると高血圧と診断されること、毎日血圧を測る習慣をつけること、

脚のお話です。江戸時代にはこ草津の地は旧東海道と旧中山道の分岐点。草津宿本陣跡のトンネルの先からは旧中山道です。江戸時代の風情がより濃く残るのは旧中山道だと思えますが、街道筋にはコンヒニが少なく、道中のトイレ問題は深刻です。宿泊施設もまた然り。草津宿本陣横のトンネルを抜けて少し歩けば守山宿野洲川を渡りしほらく歩くと、壇ノ浦の戦いに敗れ捕えられた平家盛とその子清宗が首をはねられたという場所があります。清宗の銅像は、たしか南草津病院(旧遠藤病院)の裏手にもあり。果たして真実は何？

中山道テケテク



びんびんころりのご利益が…?

減塩と適度な運動が必要と。いった話をうかがいました。血圧の正しい測り方も教えていただきました。毎日の食へのついでに、参加者からの真剣な質問にもわかりやすく答えたいいただきました。道一と云われた摺針峠。ですが、今ではその眺望も今ひとつでしょうか？

順調に行脚を進め、太田宿迄あと少しのところまで。案内書片手の下り道でスッテンコロリ、擦り傷程度で済んだもののメカネが。中山道テケテク。確水峠には「熊出没注意！」の立て看板が至る所にあり、クマザサが生い茂ったケモノ道が続きます。クマに遭遇しないようラジオをガンガン鈴をリンリン鳴らし、ソロリそろりと歩いてみると、突然ケイタイからの呼び出し音。なんと「中央公園倉庫前集合できる？」。「ナヌ！今コチラはケモノ道を恐る恐る歩いているところデス！」この文明の利器の前では逃れようがナイと観念した次第。(M・O)

お疲れ様でした

伸びたままの夏草に、切りのない落ち葉……。地域の環境は自分たちの手で、各町内で一斉清掃が行われ、おかげでまちは美しくなりました。



コージীগーデン

コージীগーデン自治会は10月16日、本年度2回目の清掃活動を行いました。大人111人、子ども45人に参加いただき、雑草に覆われた公園や歩道がきれいになりました。

その後、防災活動の一環として、町内役員で防災補助金で購入していた発電機を試動させたり、かまどペンを利用して薪で火を起こし、かす汁を作ったりしてみました。写真。町内の皆様、環境美化と防災活動にご協力ありがとうございました。



清掃できれいになった公園

内一斉清掃を実施しました。天候にも恵まれ269世帯、大人274人、子ども51人、合計325人が参加し、南・北の両公園に加え、緑地帯・遊歩道を分担し、草刈りや清掃をしました。両公園には刈り取られた雑草の大きな山ができました。一斉清掃に先立ち10月16日、「草刈隊」18人が草刈機

で草刈りを実施しました。コロナウイルスもまだ落ち着かない状況ですが、大勢の方に参加していただいたおかげで無事に終えることができました。

若草・岡本西

若草・岡本西地区では10月16日、町内一斉清掃が行われ、650戸(対象919戸)が参加しました。秋晴れにしては暑くなったこの日。前日に滋賀県コロナ警戒レベルが「1」に引き下げられ、ひとまずヤレヤレ、それでも気を引き締めてマスクを。そんな中で作業は始まりました。各町内ではあらかじめ、機械作業による下草刈りが行われており、当日は刈草



皆で協力して枯葉集め

集めが主な作業でした。が更に、植え込みの雑草取り、公園内砂場の天地返しなどが丁寧に行われました。お陰で、すっかり整備されて、爽やかな秋本番を迎える事ができそうです。なお、若草・岡本西地区ではコロナ禍に於ける、全町一斉清掃の実施基準が新たに設定されました。ご不明な点は各町内会役員にお問い合わせください。

い仮装をした6組の親子が参加しました。まずはみんなでカバン作り。写真。色画用紙で作ったカバンにそれぞれ飾り付けをしました。大きなお友達は折り紙で上手にカボチャを折ってカバンの飾りに。小さなお友達はシールを貼ったりお絵かきしたり。お母さん達のアイディアも随所に見られ、個性が光る世界に一つだけのカワイイカバンができました。カバンができたらお待ちかねの時間です。合言葉の「トリック オア トリート」を覚えてもらい、おやつをゲット。自分で作ったカバンにおやつを入れてキラキラ笑顔の子もたくさんでした。



日本で最初に誕生した手話サークルは、京都の手話学習会「みみずく」です。1963年、病院でろう者の患者に付き添った看護師さんがコミュニケーションの不便さから手話学習を思い立ち、仲間と呼びかけたことが「みみずく」誕生のきっかけとなりました。手話を学ぶひらろろ者と聴者が対等の仲間として交流しようというサークル誕生は、大きな社会

的反映を呼びました。現在の「みみずく」は会員数451人、11支部あり17会場で活動されています。さて、今回は数の表し方を紹介します。

かがやきの丘 かがやきの丘町内会は10月23日、本年度2回目の町

て、親指と他の指を順に足していきます。④ 10は1と9の数字を表した指をすべて軽く折り曲げます。⑤ 100は900は手首を上にはじくように表し、100なら入差し指をはね上げます。数字はソロバンが基本になっていますので思い浮かべながらやってみてください。また、すべて片手で表すことができるので便利です。(手話サークルうさぎ)

ハロウィン楽しいね 所でハロウィンを楽しみました。幼児から中学生、そして立命館大学のボランティア大学生10人の総勢30人が集まりました。かぼちゃ色のドレス、マントや被りものなどおしゃれをした子どもたちは、大好きなお兄さんお姉さん相手に折り紙や、クイズ遊び。隣接の児童遊園でも追いかけて走り回り、楽しい時間を過ごしました。名残惜しくてもたらない子どもたちは「またあそぼ

笑顔キラキラ 子育てサークル若草おやこっこクラブ(山出聡子代表)は10月20日、志津南まちづくりセンターでハロウィンパーティーを開催しました。マントやドレスなど可愛

パソンの駅 12月24日(土) 1月25日(水) 13時~16時 地域内困りごと相談窓口を兼ねています。

数の表し方 ① 1は4は ② 5は手のひらを相手側に向けて親指だけを横に出します。 ③ 6は9は手の甲を相手側に向け

追分南町内会「元氣くらぶ」は11月1日、京丹波方面へ3年ぶりとなる日帰りバスツアーを実施しました。参加者は40人でバス2台に分乗して行きました。生憎の雨天でしたが、大きな雨に遭うことなく全行程を無事に終えました。特に畑での黒豆収穫体験は、事前に農家の方が収穫して大きなテントの中に入れてくれていたので、雨に濡れることなく、枝から豆のさやを切り取り、袋に詰

めることができました。その後、丹波ワイナリーへ行きおいしいワインを試飲し、お土産を買い込み、ほろ酔い加減で昼食会場八光亭へ向かいました。久しぶりの食事会でおいしい料理を食べながら盛り上がり、あつと言つ間に予定時間となりました。参加者には昼食が好評でした。帰りに道の駅で名物を購入し、帰路に着きました。

高血圧の基準は？ かがやきの丘地域サロン「なごみ会」は10月23日、町内会館「さらり」で「高血圧の診断基準って知っていますか？」のテーマで「健康

減塩と適度な運動が必要と。いった話をうかがいました。血圧の正しい測り方も教えていただきました。毎日の食へのついでに、参加者からの真剣な質問にもわかりやすく答えたいいただきました。道一と云われた摺針峠。ですが、今ではその眺望も今ひとつでしょうか？

中山道テケテク 確水峠には「熊出没注意！」の立て看板が至る所にあり、クマザサが生い茂ったケモノ道が続きます。クマに遭遇しないようラジオをガンガン鈴をリンリン鳴らし、ソロリそろりと歩いてみると、突然ケイタイからの呼び出し音。なんと「中央公園倉庫前集合できる？」。「ナヌ！今コチラはケモノ道を恐る恐る歩いているところデス！」この文明の利器の前では逃れようがナイと観念した次第。(M・O)

おらおらでひとりいぐも 若竹千佐子 河出書房新社 インジョーカー 深町秋生 幻冬舎 非常識な読書のすすめ 清水克衛 現代書林 明日の子供たち 有川浩 幻冬舎 平城遷都 渡辺孝 河出書房新社 ウォーク・イン・クローゼット 綿矢りさ 講談社 二日月 作・いとうみく 絵・丸山ゆき そうえん社 メシマス狂想曲 秋川滝美 小学館